

令和2年度  
事業報告書



社会福祉法人  
千葉アフターケア協会

## 目 次

はじめに	2
<b>【法人全体の取り組み】</b>	
中長期目標について	3
令和2年度法人目標について	4
<b>【令和2年度業績報告】</b>	4
<b>【令和2年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の抜粋】</b>	6
<b>【役員会等開催報告】</b>	7
事務局	8
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	9
生活介護	10
施設入所支援	11
短期入所	12
医務室・訓練室	13
<b>【利用者行事等実施報告】</b>	14
<b>【利用者週間活動実施報告】</b>	15
<b>【法人全体のヒヤリハット・事故報告】</b>	16
<b>【苦情等について】</b>	18
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	18
<u>児童通所支援事業所ハピネス浜野</u>	20
児童発達支援・放課後等デイサービス	21
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	23
<b>【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】</b>	24
<b>【法人内委員会・諸会議実施報告】</b>	26
令和2年度 委員会年間計画・研修実施報告	29

## はじめに

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、入所利用者の外出泊の制限や、通所利用者と入所利用者の接触を避けるなど、利用者の生活を制限した。各事業所の館内消毒、外部者の入館制限、検温、健康チェックを実施した。備品の確保、発症時の事業継続計画を立てた。職員も検温、行動様式の変化に対応し体調管理に努め、利用者及び職員の感染はなかった。

行事等は、外部の方や家族も参加していた「ハピネス祭り」を中止し、入所利用者のみで「ステイホームパーティ」を実施した。また、外出活動や外部からボランティアを招いての活動は実施しなかった。

災害対策では、補助金を活用し非常用発電設備を設置することができ、停電時に大きく利用者の生活が制限されることはなくなった。また、職員全体で約5カ月に渡り「4S（整理・整頓・清潔・清掃）運動」として環境整備や業務の効率化に取り組んだ。その結果、設備面で経年劣化による修繕が必要な箇所や、今後の利用者の身体状況を踏まえた施設づくりという課題も確認されたため、点検・検討を行った。

生活介護（通所）、短期入所、児童通所支援事業では、感染予防対策を実施して営業したが、緊急事態宣言等により、感染予防のために利用を控える利用者が多かった。

法人全体において、パートタイマー等の職員が増え、業務の分担や必要な時間帯に職員を配置することができた。

ヒヤリハットや事故に対し、職員一人一人が気づいたことや事象に対して、「周知・改善」の意識が高まり、報告件数が前年度より約3倍増加した。

次年度は、引き続き災害等に強い施設づくりを目標に、新型コロナウイルス対策や4S運動による環境整備を継続する。また、職員の教育環境を整え、多様な働き方ができるよう取り組む。そして、サービスを必要とされる人々や地域に対して、質の高いサービスを提供できる法人となるよう取り組む所存である。

### 【役員等総数】※令和3年3月31日現在

理事 6名  
監事 2名  
評議員 8名  
評議員選任・解任委員 4名（外部委員2名）

### 【職員数】※令和3年3月31日現在

正規職員 35名  
パート職員 27名（外国人介護職員3名）  
計 62名

## 【法人全体の取り組み】

### 中長期（平成30年度から3年間）目標について

#### 1. 地域と共にある施設づくり

- (1) 防災を中心とした地域との連携による利用者の安全確保体制の強化
- (2) 地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

#### [報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染予防で玄関にサーモカメラ、アクリル板等を設置した。予防に必要な備品の確保に努めた。
- 2) 認知症カフェ「濱野館」は新型コロナウイルス感染予防のため休館とした。

#### 2. 社会福祉法人の使命の追及

- (1) 利用者の尊厳を保持し、安心・安全な介護サービスの提供
- (2) 快適な暮らしを提供するための施設整備の充実
- (3) 開かれた法人運営
- (4) 社会福祉充実計画の実施と検討

#### [報告事項]

- 1) 介護事故に対して同様の事故が起きないように迅速に検証、対策を講じたが、忘れ物、私物破損等、不注意による事故も多く、利用者や家族に不安を与えてしまう場面があった。

#### 3. 施設・職場環境の整備

- (1) チームワークによる支援体制の充実
- (2) 職員教育制度の充実
- (3) 職員の職場定着のため、働き方・考え方の多様性を尊重

#### [報告事項]

- 1) 4S運動、感染予防研修、不適切なケアについての研修等、委員会活動が活発だった。
- 2) 介護技術の研修を4ヶ月にわたり実施し、知識や技術の向上に努めた。
- 3) 職員紹介制度の活用者が6名で、正職員・パート職員の紹介であった。  
採用 14名（入職率：30年度 12/52 23.0% 31年度 14/54 25.0% 2年度 14/62 22.5%）  
退職 6名（離職率：30年度 10/52 19.2% 31年度 11/54 20.0% 2年度 6/62 9.6%）

## 令和2年度法人目標について

### 法人の総合力を高める

～利用者の生活を守る施設づくり～

- 災害に対する施設整備並びに防災訓練の強化
- 感染症予防に対する情報共有と迅速な対応

#### [報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染予防等対策を実施したことで、利用者・職員に感染もなく、事業運営にも大きな支障はきたしていない。
- 2) 運営委員会で感染症の予防策、感染者発生時の事業継続計画に取り組んだ。また、理事会にて必要な対応（休暇・手当等）を協議し、職員が不安なく対応できるよう取り組んだ。
- 3) 感染症の情報では、行政通知等をインターネット伝言板や文書を通じて共有に努め、全体会議等で説明し、理解不足が生じないように努めた。利用者家族に対して、施設の取り組みを説明し理解を求めた。
- 4) 自家発電設備設置の際、停電を利用して訓練を実施し、停電時の対応を精査した。備蓄食や必要備品の確保や使用方法を周知した。
- 5) 自家発電設備を設置したので、停電時も入浴以外の支援ができるようになった。

### 【令和2年度業績報告】

#### 1、事業の経過及びその成果

##### サービス活動収益について

令和2年度は、入所施設（施設入所・短期入所・共同生活）において、平均利用者数が当初予算とほぼ同等となり、通所施設（生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス）においては感染予防を実施し営業をしていたが、新型コロナウイルスの影響により利用者が利用を控えた事で、当初予算より利用数が下回った。全体では当初予算より 5,200 千円減少となった。

##### 補助金・助成金申請について

- 1) ハピネス浜野建設時の設備資金借入金返済元金 11,000 千円と利子 363 千円に対して、千葉市から 3/4 額の補助金が交付された。
- 2) 移乗サポートロボット Hug 購入にあたり、エイジフレンドリー間接補助金として日本労働安全衛生コンサルタント会から 334 千円の補助金が交付された。
- 3) 新型コロナ感染予防での小学校休業等にあたり、両立支援助成として厚労省から 488 千円の助成金が交付された。
- 4) 新型コロナ感染対策にあたり、千葉市医療・介護従事者支援として千葉市から 400 千円の補助金が交付された。

- 5) 新型コロナ感染対策にあたり、新型コロナ感染症緊急包括慰労金助成として、千葉県から 3,351 千円の助成金が交付された。
- 6) 新型コロナ感染対策にあたり、新型コロナ感染症緊急包括支援として千葉県から 2,794 千円の補助金が交付された。
- 7) 非常用自家発電設備装置補助金として、14,317 千円の補助金が交付された。

#### 支出について

##### <建物・設備等>

固定資産取得支出の合計金額 26,888,594 円

全自動洗濯機・ガス式乾燥機を入れ替え、非常用自家発電設備装置・VPNルーター・食器洗浄機・AIサーマルカメラ・移乗サポートロボット Hug・冷凍ストッカー・多人数用ベビーカートを増設した。

##### <人件費・事業費・事務費>

(指標%)	平成 31 年度	令和 2 年度	前年比
人件費率 (60~70%)	60.0%	65.5%	5.5%増
事業費率 (13~15%)	13.5%	13.0%	0.5%減
事務費率 (13~15%)	15.2%	16.7%	1.5%増

##### <積立金>

- ・ハピネス浜野にて、非常用発電機購入時取崩した為、備品等購入積立金に 4,000 千円、ポート浜野にて、開所より 6 年経過するので修繕積立金に 1,000 千円積み立てた。

#### 法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- ・資金収支計算書上の決算額については、概ね予算どおりの内容となった。
- ・事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して 7,919 千円の増益となった。
- ・今年度の経常増減差額は  $\Delta 8,475$  千円となった。前年度比  $\Delta 24,534$  千円であった。

#### 社会福祉充実計画について

- ・ポート浜野における、児童通所支援事業の移転・拡充及びグループホームの開所については、具体的な計画は立てることが出来なかったが、運営委員会で検討や資料を研究した。

## 2、予算・決算差異【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異 (予算－決算)	
事業活動収入	352,109	353,427	1,318	(100.3%)
事業活動支出	338,409	336,086	△2,323	(99.3%)
事業活動資金収支差額	13,700	17,341	3,641	
施設整備等収入計	11,778	11,778	0	(100.0%)
施設整備等支出計	40,453	40,357	△96	(99.8%)
施設整備等資金収支差額	△28,675	△28,579	96	
その他の活動収入計	21,230	21,230	0	(100.0%)
その他の活動支出計	4,755	7,050	2,295	(148.2%)
その他の活動資金収支差額	16,475	14,180	△2,295	
予備費支出	1,500	0	1,500	
当期資金収支差額合計	0	2,941	2,941	

## 3、収支の推移【事業活動計算書】

(単位：千円)

	平成 31 年度	令和 2 年度	対 比	
サービス活動収益	342,855	350,775	7,920	(102.3%)
サービス活動費用	326,415	357,955	31,540	(109.6%)
増減差額	16,440	△7,180	△23,620	
サービス活動外収益	4,527	2,652	△1,875	(58.5%)
サービス活動外費用	4,909	3,947	△962	(80.4%)
サービス活動外増減差額	△382	△1,295	△913	
経常増減差額	16,058	△8,475	△24,534	
特別収益	24,337	12,257	△12,080	(50.3%)
特別費用	94	15,621	15,527	(166.2%)
特別増減差額	24,243	△3,364	△27,607	
当期活動増減差額	40,302	△11,839	△52,141	

## 4、資産・負債の推移【貸借対照表】

(単位：千円)

	平成 31 年度	令和 2 年度	対 比	
流動資産	93,771	97,925	4,154	(104.4%)
固定資産	1,099,629	1,071,664	△27,965	(97.4%)
資産合計	1,193,400	1,169,589	△23,811	(98.0%)
流動負債	25,558	25,102	△456	(98.2%)
固定負債	37,587	27,837	△9,751	(74.0%)
負債合計	63,146	52,939	△10,207	(83.8%)
純資産	1,130,254	1,116,650	△13,604	(98.7%)

## 【役員会等開催報告】

### 1. 監事監査

令和2年5月27日（水）

平成31年（令和元年）度法人経営事業の監査

### 2. 理事会

第1回理事会 令和2年6月3日（水）（書面決議）

議題 第1号議案 平成31年（令和元年）度事業報告について

第2号議案 平成31年（令和元年）度決算報告について

第3号議案 社会福祉充実計画（案）について

第4号議案 定時評議員会の開催について

第5号議案 コロナ対策特別手当について

第2回理事会 令和2年9月16日（水）

議題 第1号議案 コロナ禍における役員会の開催方法について

第2号議案 告訴案件に係る法人の対応について

第3回理事会 令和2年11月18日（水）

議題 第1号議案 令和2年度一次補正予算（案）について

第2号議案 告訴案件に係る法人の対応について

第4回理事会 令和3年3月17日（水）

議題 第1号議案 令和2年年度二次補正予算（案）について

第2号議案 令和3年度事業計画（案）・収支予算（案）について

第3号議案 評議員選任・解任委員の報酬について

### 3. 評議員会

第1回評議員会 令和2年6月20日（土）（書面決議）

議題 第1号議案 令和元年度 事業報告書の承認について

第2号議案 令和元年度決算報告の承認について

第3号議案 令和元年度社会福祉充実計画の承認について



# 事務局

## 1. 法人事務

### [報告事項]

- 1) 職員採用は、広告（求人誌・Web）、ハローワーク、職員紹介制度を活用し、パートタイマー等の職員が増加した。
- 2) 税理士との打合せを月1回行い、適切な会計処理に努めた。
- 3) 施設備品は、経年劣化や不注意による破損等があり、修繕が多く発生した。
- 4) 補助金を活用し、非常用発電設備を設置した。
- 5) 補助金を活用し、新型コロナウイルス感染予防の備品等を整備した。
- 6) 新型コロナウイルス対策の事業継続計画を作成し、それに伴う職員処遇を整備した。

## 2. 防犯・防災計画

### [報告事項]

- 1) 消防通報訓練を含む総合避難訓練を9月16日、夜間想定訓練を3月10日、自家発電取付工事を利用した、停電時訓練を9月26日に実施した。

## 3. 広報活動

### [報告事項]

- 1) 広報委員会を立ち上げ、日常の様子や通知等、法人からの発信に努めた。
- 2) 実務者研修実施の告知、財務関係書類や児童発達支援事業の事業所評価を公開した。

## 4. 食事提供

### [報告事項]

- 1) 食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- 2) 行事食は季節のメニューを月1回のペースで提供し、ステイホームパーティやクリスマス会、季節の行事等に合わせた特別メニューやリクエストで新メニューを実施した。
- 3) 体重が急激に減少してしまった方へは、医務室と連携し、補助食やメニューの改善を行った。
- 4) タンパク質、カルシウム、鉄分等の摂取に注意し、適切な食事提供に努めた。

# 障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

## 目標

- 1、個別支援計画の理解と利用者支援の実施と記録の充実を図る  
～行事・サークル活動の計画的な実施と適切な介護サービスの提供～
- 2、利用者の生活の場である施設を安全に快適に管理する  
～福祉用具の活用と日々の点検・清掃の実施～
- 3、組織の一員としての資質を養う  
～自己研鑽・啓発に努め、バックアップ体制を整え業務遂行～

## [報告事項]

- 1)個別支援計画書の理解に努め、支援グループを通じて、様々な利用者の日常生活上の課題を検討し、支援内容の充実を図った。
- 2)誤薬の介護事故を通じて、服薬チェックの方法を見直し、ダブルチェック、声出し確認、チェック表の記入を行い、安全な与薬介助の実施に努めた。
- 3)コロナウイルスの感染拡大防止の為、外部からの人の出入りを極力避け、各フロアの活動を遵守した。検温や消毒を随時行い、健康管理、衛生管理に努めた。
- 4)介護技術向上の為、外部講師による内部研修を4ヶ月にわたって行った。

## 【利用者年齢構成】

令和3年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所利用者	男	0	1	1	5	4	5	0	16
	女	0	0	2	5	2	5	2	16
通所利用者	男	0	14	5	2	3	0	0	24
	女	0	5	1	2	2	0	0	10
計		0	20	9	14	11	10	2	66

## 【利用者平均年齢】

入所利用者 53歳

通所利用者 32歳

# 生活介護

## 目 標

利用者主体となる計画を立て、選択できる個別性の高いサービスを実施する。

## [報告事項]

- 1) 日中活動は、通所利用者はねむの木広場の広いスペースを活かしてレクリエーション中心の動的活動や散歩、リハビリを兼ねた手指を使つての様々な装飾等の作品を作る静的活動を行った。入所利用者は、各フロアでのサークル活動や希望に沿った個別活動についても随時行った。
- 2) 利用者のニーズを考え、入浴支援を中心に清潔保持、健康管理、生活リハビリの実施を行った。身体特性や日々の体調に合わせた入浴を医務と連携して行った。浴室では、入所利用者との接触を減らしたり、カーテンで仕切る事で同一時間の滞在を避けた。
- 3) コロナウイルスの感染拡大防止の為、入所利用者と通所利用者の活動を分離し、利用前検温の徹底(連絡帳記入から健康チェックシートの記入へ)、自家送迎の保護者は玄関までとした。また室内においても換気の励行、食事や活動時は三密を避けた配置を行った。
- 4) 送迎サービスについて、運転スタッフとの連携を図りながら、安心、安全、快適な運行を行った。可能な限り利用者にマスク着用を依頼し、運行中の車内の換気、消毒の励行を実施した。

## 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	14,177	13,649	△528
1日あたり平均利用者数 (名)	53.9	52.3	△1.7 (97.0%)
事業収入 (千円)	207,882	208,869	987 (100.5%)

## 【直近5年間の利用者の推移】

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者定員 (名)	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数 (名)	54.5	54.7	52.3	52.5	52.3
稼働率 (%)	90.1	91.1	87.1	87.5	87.2
稼働日数 (日)	259	257	256	262	261
利用者延べ人数 (名)	14,126	14,061	13,394	13,763	13,649
事業収入 (千円)	205,748	196,748	197,680	205,828	208,869
平均障害支援区分	5.3	5.4	5.3	5.7	5.5

# 施設入所支援

## 目 標

利用者の心身の変化に応じ、福祉用具など環境を整え、他職種との連携を図りながら、日常生活の質を高める。

## [報告事項]

- 1) 医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋げた。
- 2) 地域の行事はすべて中止となったが、施設内行事としてステイホームパーティー、各階に分かれてのクリスマス会など趣向を凝らした内容で、利用者と職員が共に楽しんだ。
- 3) 懇話会では、施設からの連絡事項の伝達や、利用者との意見交換を行った。
- 4) 福祉用具 Hug を活用し移乗介助を実施するなど、利用者、職員ともに安全な支援を実践した。
- 5) コロナウイルスの感染拡大防止の為、通所利用者との活動を分離し、平日のねむの木広場の利用自粛や、外出泊・面会の数を制限し、保護者の送迎を玄関までとした。また室内においても換気の励行、食事や活動時は三密を避けた配置を行った。可能な限り利用者のマスク着用を推進、共有物の消毒、利用者の手指消毒の強化を図った。

## 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	11,308	11,462	154
1日あたり平均利用者数 (名)	30.9	31.4	0.5 (101.6%)
事業収入 (千円)	75,180	75,549	369 (100.5%)

## 【直近5年間の利用者の推移】

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者定員 (名)	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数 (名)	31.1	31.2	30.8	30.8	31.4
稼働率 (%)	97.2	97.5	96.2	96.2	98.1
稼働日数 (日)	365	365	365	366	365
利用者延べ人数 (名)	11,340	11,393	11,264	11,302	11,462
事業収入 (千円)	66,938	67,342	69,536	73,591	75,549
平均障害支援区分	5.3	5.3	5.3	5.4	5.3

## 短期入所

### 目 標

利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用できるよう調整に努める。

### [報告事項]

- 1) 緊急事態宣言発令時には外部との出入りを制限する為、ロングステイに切り替えての利用者に限定した。
- 2) 宣言解除後も、家族の送迎を玄関までとする等の感染防止対策を図った。外部の利用者は自粛する傾向にあり新規利用者はなかったが、恒常的に利用する利用者のロングステイでの利用や、緊急利用が必要な利用者のベッドコントロールが柔軟に対応出来た。
- 3) 利用者が安心して安全に過ごせるよう関係機関との連携を密に取り、ケース会議を活用して職員と情報共有を図った。

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	1,972	1,935	△37
1日あたり平均利用者数 (名)	5.3	5.3	0.0 (100.0%)
事業収入 (千円)	23,999	23,925	△74 (99.7%)

### 【直近5年間の利用者の推移】

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者定員 (名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数 (名)	5.7	5.5	5.0	5.2	5.3
稼働率 (%)	95.0	91.7	83.3	86.6	88.4
稼働日数 (日)	365	365	365	366	365
利用者延べ人数 (名)	2,088	2,003	1,825	1,917	1,935
事業収入 (千円)	19,402	19,342	23,642	23,427	23,925
平均障害支援区分	5.1	5.2	5.5	5.3	5.8

## 医 務 室

### [報告事項]

- 1) 定期通院は家族対応にて月平均 16 件、皮膚科（レインボー皮膚科）受診はコロナ感染症自粛後不要な外出は避ける為、6 月より症状が安定している場合の定期受診は避け、嘱託医（長嶋医師）診察時に状態確認、外用薬処方に変更した。臨時通院は月平均 1 件で施設対応、救急車対応はなく、入院治療をする利用者もいなかった。
- 2) 日々の体調管理と服薬管理として、毎月 1 回嘱託医が入所利用者の診察を実施した。上気道感染 1 件、不明熱 4 件（翌日解熱）、尿路感染 2 件であった。
- 3) 月 2 回の歯科医師による訪問診療で入所利用者中心に、検診と歯石除去、虫歯治療や入れ歯の作製などが実施された。
- 4) 入所者 7 名に大腸がん検診の対応を行い、結果は全員陰性だった。
- 5) 7 月に肺炎球菌ワクチン 1 名、1 1 月に入所利用者 29 名と短期入所利用者 1 名、グループホーム入居者 5 名がインフルエンザワクチン接種実施した。
- 6) 施設利用者の病状変化に伴い医療ケア（尿留置カテーテルの交換と管理、経管栄養、ネブライザー吸入、気管内および口鼻腔内吸引、呼吸器管理など）を実施した。
- 7) 利用者の体重変化の観察と栄養士とともに栄養マネジメントを実施した。
- 8) 入所利用者 3 2 名と短期入所利用者 1 名に定期健康診断を 2 回実施、結果は嘱託医および家族に連絡し、主治医への連携を図った。
- 9) コロナ感染対策として毎日の館内消毒、また利用者、職員へソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗いの必要性を伝え感染対策への意識付けを行った。
- 10) 今後さらに医療ケアの必要度が増し、加齢に伴う疾患もあるため疾病予防に力を入れると共に感染予防の徹底を行いサービスの低下をきたさないよう努めていきたい。

## 訓 練 室

### [報告事項]

- 1) 利用者と、利用者を取り巻く様々な環境の適合状況を評価し、必要に応じて調整、変更してきた。利用者には電動車いす等による自発的な移動能力の向上を、また、利用者の日常生活場面の維持、改善に職員が有効に使い得る福祉機器の導入にも重きを置いて実施した。
- 2) 補装具の新調・修理にあたっては身体機能と日常の使いやすさに留意した。

## 【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4月			お花見松花堂弁当
5月	千葉県障害者スポーツ大会 (10日) → 中止	青葉の森陸上競技場	端午の節句メニュー
6月			リクエストメニュー
7月	七夕飾り	各階フロア	七夕メニュー
8月	利用者懇話会(26日) スイカ割り(29日)	3階(すずかけ) 2階デッキ	精進料理
9月			月見ハンバーグ 利用者健康診断
10月	ステイホームパーティー(3日) ハロウィンウィークゲーム大会(10月29日～11月4日)	ハピネス浜野 各階フロア	ハロウィンメニュー パーティーメニュー
11月			リクエストメニュー インフルエンザ予防接種
12月	クリスマス会(23日)	各階フロア	クリスマスメニュー 冬至メニュー 年越しそば
1月	諏訪神社初詣(1日)	諏訪神社	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2月	節分ゲーム大会(1日～5日) 利用者懇話会(17日) ひな壇飾り(23日)	各階フロア 3階(すずかけ) ねむの木広場	節分メニュー バレンタインおやつ
3月	ひなまつりゲーム大会(3日)	各階フロア	利用者健康診断 ひな祭りメニュー ホワイトデーおやつ
毎月	<b>【理美容】</b> アラモード(第3月曜) 髪人(第3火曜) <b>【ボランティア活動】</b> ボッチャ(偶数月 第2水曜) <b>【サークル活動】</b> 手工芸、ものづくり、音楽、美容、園芸、料理 <b>【その他】</b> 体重測定(1回) 嘱託医診察(1回) 訪問歯科診療(2回) みんなの声ポスト確認(月初) 味ポスト(随時聞き取り)		

### 産業現場実習

袖ヶ浦特別支援学校から高等部の実習生を1名受け入れた。

### 千葉市スポーツ大会

参加希望者を募り、参加競技に向けての練習、計画を立てていたが、感染拡大予防の為、中止。

### ステイホームパーティー

ハピネス祭に代わる行事として、入所利用者のみ土曜日の夕方から実施。密を避け1階ねむの木広場での食事会、ビンゴ大会、花火大会を行った。

### クリスマス会

スモールクリスマスワールドと称して、通所利用者はねむの木広場で、入所利用者は2・3階のフロアにて職員の出し物、ゲーム大会、クリスマスメニューの昼食を楽しんだ。また職員よりメッセージ付きのクリスマスカードに当日の写真を添えて参加利用者にプレゼントした。

### 行事食

季節感や特別行事を意識献立に合わせて食事環境を装飾した。

### 利用者懇話会

入所利用者だけの参加で、感染予防対策や行事、日々の活動、食事について話し合った。

### オセロ大会

県身協主催で毎年6月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為中止。

### ハーティーコンサート

県身協主催で毎年10月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為中止。

### 外出活動

前年度からの小グループでの飲食を伴う年間を通じての外出活動は、感染予防の為中止、ステイホームパーティーの賞品としての利用者の個別外出のみ実施。利用者の希望を叶え、映画鑑賞やお好み焼き屋での飲食を実施した。

### サークル活動

・ものづくりサークルでは、ステイホームパーティー、クリスマス会に向けての装飾作りを行った。天井への飾りつけをメインに、缶で提灯を作成したり、テーマに応じた塗り絵を行い壁等に飾った。

・料理サークルでは、衛生面に注意しながらかき氷を行い、利用者に夏の雰囲気味わう機会を提供した。

・レクサークルでは、レクリエーションを通じて季節を体験できる内容を実施した。スイカ割り、ハロウィン、節分、ひな祭り等は、日中活動内として実施した。

## 【利用者週間活動実施報告】

	午前	午後
月曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談
火曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴(男女) 各種全体活動 機能訓練・相談



水曜日	機械浴（男女） 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 誕生日会（最終週） 機能訓練・相談 体重測定 嘱託医診察（施設入所支援利用者のみ）
木曜日	機械浴（男女） 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談 訪問歯科（施設入所支援利用者のみ）
金曜日	機械浴（男女） 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴（男女） 介助浴（男性） 各種全体活動 機能訓練・相談
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備

\*日用品の買い出しが必要な利用者やステイホームパーティの賞品での外出は都度実施した。

## 【法人全体のヒヤリハット・事故報告】

### 1、「ヒヤリハット報告」

定義：職員がある場面で『危なかった』と感じた事象である。

		令和2年度 ヒヤリハット報告件数内容												
件数（月別）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別														
転倒（自立その他）										1				1
転倒（要介助）				1	1	2	1				1	1		7
転落（自立その他）														0
転落（要介助）							1	1	1	2	2			7
外傷			3	4	2							1		10
投薬ミス			1				1	1	2		1	1	1	8
異食・誤飲														0
異物混入														0
返却忘れ			1	4	1	2	1	1	2	2		4		18
物損・紛失			1	4	1			1		1	2			10
その他（設備）		2	5	4	7	3	6	1	5	2	2	5	3	45
その他（利用者）		2	12	21	13	5	1	7	10	9	4	12	4	100
離設（施設外）														0
合計		4	23	38	25	12	11	12	20	17	12	24	8	206

年度	H30	H31	R 2
件数	59	73	206

[報告事項]

前年度件数の約3倍の報告が上がった。今年度より、ヒヤリハットの前段階での「発見・気づき連絡シート」も導入し、報告件数が増化した。それらの内容を精査し、ヒヤリハット報告に転じたものもあった。

- 1) その他（利用者関連）100件 ハピネス浜野で「単独でエレベーターに乗り下階へ移動してしまった」との内容が多く、同一人物の報告多数。利用者の行動パターン、ニーズ、職員のフロア体制など検討・分析する必要があったが、見守り強化にとどまった。
- 2) その他（施設関連）45件 「いつからの不具合なのかわからない」と報告が多い。施設備品等で修繕依頼に繋がったものも多数あったが、事故に発展はしなかった。
- 3) 返却忘れ18件 単純に「報・連・相」の確認不足と考えられた。

2、「事故報告」

定義：施設内で利用者へ職員の間わりの有無を問わず、発生した通常状態以外の事象を指す。結果的に利用者の身体的損傷等がなくても、発生した事実に着目し、再発防止に向けた検討が必要な内容である。

令和2年度 事故報告件数内容													
種別 \ 件数(月別)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒（自立その他）	2	2	3		1		1			1			10
転倒（要介助）		1							1			2	4
転落（自立その他）	1		2	1	2			2	1				9
転落（要介助）				2		1	1			1	2		7
外傷		1	2		1		1	3		1	1	1	11
投棄ミス	1	1	1					1	1	1		1	7
異食・誤飲						1							1
異物混入													0
返却忘れ			2		2	3		2	1	1	1	4	16
物損・紛失	2	2	4	3	3	7	1	1	1	3	1	5	33
その他（設備）		1	2			1		1					5
その他（利用者）	3	7	5	6	4	2	7	3	5		1	7	50
離設（施設外）													0
合計	9	15	21	12	13	15	11	13	10	8	6	20	153

年度	H30	H31	R2
件数	82	55	153

## [報告事項]

前年の3倍の報告が上がった。報告件数の増加もあり、ヒヤリハット報告同様、発見・気づき連絡シートから事故と判定したものも含んだ。

- 1) 転倒・転落事故 30件 普段は自身で歩行、車いす自走されている方を「自立」、介助を行っている方を「要介助」と分け計上。見守り下でない単独での転倒・転落が多くなっている。事故により処置が必要となったのは11件で、いずれも医務室で実施した。
- 2) 物損、紛失 33件 施設の備品、公用車等の確認不足や物品を丁寧に扱う意識の希薄さといった点がある。行動評価目標にもあるように、意識して扱うようにしたい。
- 3) その他（利用者関連） 50件「報・連・相」の不足による単純ミスが多かった。ヒヤリではなく事故報告に計上した理由は、事前に気づく事ができなかったためとした。

## 【千葉県への事故報告 0件】

### 【苦情等について】

- 1) 「みんなの声」ポストへの投函はなかったが、新型コロナウイルス感染予防で思うように家族が施設入所利用者と会えない環境下であり、必要な情報は迅速な連絡と丁寧な説明を心がけて、コミュニケーションを図るよう取り組んだ。
- 2) 苦情には至っていないが、生活介護利用の家族より送迎車への乗車介助時、職員の介助方法に嫌悪感を抱かれた様子が連絡帳に記載されていた。「物を扱うみたいだった。」と不快に感じられたとの内容だった。ご家族へは謝罪と対応したと思われる職員へは厳重注意を行い、第三者が見て、不快に思うような対応を、お互いに注意しあえる環境作りに努めた。

## 相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

### 目 標

- (1) 地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- (2) 同事業所意見交換会で実施する勉強会や相談支援に必要な研修に参加、異業種との交流に努めネットワークを構築していく。
- (3) 福祉に関する知識だけでなく、その知識に基づいて様々な相談に対応できる知恵と高い専門性を持てるようスキル向上に努める。

[報告事項]

- 1) 計画相談支援新規契約は、障害者 5 件・障害児 7 件 総合計 145 件。
- 2) 契約終了者は、障害者 5 件。障害児 6 件。内訳は、死亡終了 1 件、サービス利用の希望なし 9 件、事業所変更希望 1 件。
- 3) モニタリング頻度が在宅者平均 3 か月ごと、入所者 6 か月ごとが定着化し、実施件数は増加した。
- 4) 新型コロナウイルス感染拡大に際し、自宅訪問は、希望を確認したうえで状況に応じて実施し、訪問できない場合は、電話のみの聞き取り対応とした。対面でお話しを伺う機会が減ったため、本人やご家族の様子を把握しづらさもあった。
- 5) 令和 2 年 10 月には、千葉市各区に基幹相談支援センターが設置され、中央区基幹相談支援センター主催の意見交換会・勉強会に参加。多職種が集まる機会が増え、情報交換の場としても一事業所で抱え込まずに相談支援のバックアップに期待が高まった。
- 6) 相談支援関係の研修について、コロナ禍による中止が相次ぎ希望する研修には参加できなかったが、自己研鑽・スキルアップに努めた。

【資金収支計算書による予算・実績】

	予 算	実 績	差異
計画相談支援事業収入（千円）	3,803	4,216	413（110.9%）
障害児相談支援事業収入（千円）	1,300	1,417	117（109.0%）
合 計	5,103	5,633	530（110.4%）

【直近 5 年間の利用者の推移】

（計画相談支援）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度
計画書作成件数（件）	87	75	83	87	74
モニタリング件数（件）	155	155	158	238	260
新規契約件数（件）	12	6	11	7	5
3 月 31 日時点契約件数（件）	112	103	108	112	111
事業収入（千円）	2,886	2,757	2,644	3,287	4,216

（障害児相談支援） ※平成 27 年 2 月 1 日事業開始

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度
計画書作成件数（件）	26	23	44	36	34
モニタリング件数（件）	81	37	77	95	86
新規契約件数（件）	6	5	15	5	7
3 月 31 日時点契約件数（件）	18	20	34	33	34
事業収入（千円）	940	821	1,412	1,526	1,417

## 児童通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルスの感染予防に努めた。
- 2) 固定利用児の利用回数をご家族と相談し必要に応じ利用日の調整を行った。
- 3) 個別支援計画書の理解に努め、個々の利用児の課題に取り組んだ。
- 4) 特別支援学校や他事業所との連絡を積極的に実施し、情報収集や情報共有に努めた。
- 5) ヒヤリハットや事故報告が起きた場合は情報共有し、早期に部署内で話し合う時間をもち、問題点を探り解決方法を見つけられるよう努めた。
- 6) ハピネス通信を毎月発行し、活動内容等を保護者へ伝えた。

**【資金収支計算書による計画・実績（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】**

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人数（名）	271	246	△25
放課後デイ利用者延べ人数（名）	1,069	717	△352
<b>合 計（名）</b>	<b>1,340</b>	<b>963</b>	<b>△377</b>
児童発達支援 1日あたり平均利用者数（名）	1.0	0.9	△0.1
放課後デイ 1日あたり平均利用者数（名）	4.2	2.8	△1.4
<b>合 計（名）</b>	<b>5.2</b>	<b>3.7</b>	<b>△1.5（71.2%）</b>
児童発達支援事業収入（千円）	3,375	3,260	△115（96.6%）
放課後デイ事業収入（千円）	13,922	13,528	△394（97.2%）
<b>合 計（千円）</b>	<b>17,297</b>	<b>16,788</b>	<b>△509（97.1%）</b>

**【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】**

※平成27年10月事業開始

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者定員（名）	5	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	3.2	4.6	5.3	4.0	3.7
稼働率（%）	64.0	76.7	88.3	66.6	62.0
稼働日数（日）	259	257	256	261	259
利用者延べ人数（名）	827	1,177	1,378	1,056	963

# 児童発達支援

## 目 標

- (1) 様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- (2) 療育やリハビリを通じて、持っている力を発揮できるよう取り組む。
- (3) 集団での活動により、家族以外の大人や子供同士の関わりを広げる。

## [報告事項]

- 1) 『朝のウォーミングアップ』のカリキュラムを作成し、継続的に取り組んだ事で、自発的に身体を動かしたり、感情表出を促すことが出来た。
- 2) 集団活動の中に、粗大運動や感覚遊び等の中で、様々な(ボール、小麦粉粘土、ボードゲーム、ボールプール、タオルブランコ、斜面台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。
- 3) 夏休み期間中は、プール遊びを実施し浮力の中で身体を動かす経験が出来るように環境を整えた。
- 4) 自発的に姿勢保持や姿勢変換等の機能を高める為に、専門的な訓練の機会を確保し、身体機能の向上を促した。
- 5) 近隣の幼稚園や保育園に出向き、開放運動会や開放保育園に参加し、地域交流を図った。長期休み期間は放デイのお友達との関り、公園で会う同年代の子どもとの関り等、友だちとのやり取りを楽しめるように支援した。

## 【直近5年間の利用者の推移】

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
1日あたり平均利用者数(名)	0.3	0.6	0.5	0.3	0.9
稼働日数(日)	259	257	256	261	259
利用者延べ人数(名)	87	147	136	84	246
事業収入(千円)	877	1,513	2,683	993	3,260

# 放課後等デイサービス

## 目 標

- (1) 一人ひとりの障害特性を理解し、快適な時間を送れるよう計画・実施する。
- (2) 様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。

## [報告事項]

- 1) 長期休み等には小集団で外出活動を取り入れ、グルーピングや外出場所を考慮し、周囲についても月齢に応じて興味関心や社会性を付けられるよう支援した。
- 2) 個別の関りが必要な状況の児童に対しては、1対1でじっくりと関わる時間を設けたり、

散歩に出かける等配慮し、個々に快適な時間が送れるよう努めた。

3) 集団活動の中に、粗大運動や感覚遊び等を取り入れ、様々な(ボール投げ、ボールプール、タオルブランコ、斜面台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。また、微細運動(紙ちぎり、新聞遊び、小麦粉粘土、ボードゲーム等)も取り入れる事で、自発的に訴える等の感情表出を促せるように支援した。

#### 【直近5年間の利用者の推移】

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
1日あたり平均利用者数(名)	2.9	4.0	4.8	3.7	2.8
稼働日数(日)	259	257	256	261	259
利用者延べ人数(名)	740	1,030	1,242	972	717
事業収入(千円)	9,790	13,468	21,558	14,652	13,528

#### 【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	ハピネス周辺
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
8月	スイカ割り	ハピネス浜野の中庭
10月	ハロウィン	ねむの木広場
12月	クリスマス	ねむの木広場
3月	ひな祭り	ねむの木広場

\* 月間活動：誕生会  
 \* 外出活動：長期休み時等に小集団にて、グループにあった外出活動を提供  
 \* 夏休み：ハピネス浜野内中庭にてプールを実施

#### 【ヒヤリハット・事故報告】

内容	ヒヤリハット件数	事故件数
転倒	1件	0件
外傷	1件	0件
返却忘れ	8件	5件
送迎関係	5件	4件
食事関係	2件	3件
器物破損	0件	1件
その他	4件	9件
合計	21件	22件

前年度 (5) (3)

## グループホームセレニテ

(共同生活援助)

### 目 標

- (1) 利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- (2) 利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- (3) 適切な財務と運営管理を行う。
- (4) 2 棟目に向けて、他グループホームの情報収集やニーズを把握する。

### [報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、利用者の買い物同行は1回/月に留め、密にならない場所を選定し、緊急事態宣言下は飲食を伴わない短時間の外出活動に変更した。
- 2) 利用者の定期受診の付き添いで、(皮膚科・婦人科) 4回、体調不良による受診の付き添いを2回行った。
- 3) 利用者1名高熱・排尿障害のため入院(11/25~12/4) 12/22まで自宅療養となった。
- 4) 令和3年度行事予定の花見は桜の開花が早かったため、3月中に実施した。

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数(名)	2,122	2,112	△10
1日あたり平均利用者数(名)	5.8	5.8	0.0(100.0%)
事業収入(千円)	19,828	19,809	△19(99.9%)

### 【直近5年間の利用者の推移】 ※平成27年5月事業開始

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者定員(名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数(名)	5.7	5.6	5.8	5.8	5.8
稼働率(%)	95.0	93.4	96.6	96.6	96.4
稼働日数(日)	365	365	365	366	365
利用者延べ人数(名)	2,086	2,053	2,120	2,129	2,112
事業収入(千円)	17,477	17,745	18,575	19,168	19,809
平均障害支援区分	3.4	3.5	3.5	3.8	3.8

### 【入居者年齢構成】

令和3年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	0	2	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	0	1	0	0	2
計		0	1	2	0	3	0	0	6



【活動実施報告】

月	活 動	場 所
4月	外出活動(花見)	大百池
9月	花火	グループホームセレニテ
11月	外出活動(紅葉狩り)	幕張海浜公園・見浜園
12月	忘年会	グループホームセレニテ
3月	外出活動(花見)	青葉の森公園
土日	買い物	

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	ヒヤリハット件数	事故件数
転倒	2件	3件
転落	0件	1件
ずり落ち	1件	1件
服薬	0件	0件
器物破損	0件	5件
調理	1件	4件
その他	13件	5件
合計	17件	21件

前年度 (12) (9件)

【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】

月	研 修 等	実習生等受け入れ
4月		
5月		
6月	感染症対策研修(委員会)	
7月	BCP訓練 with coronavirus 4S運動研修(委員会)	
8月	介護技術研修(排泄介助 3回) 身体拘束廃止研修(委員会)	相談援助実習1名
9月	介護技術研修(食事介助 3回) 虐待防止研修(委員会)	
10月	介護技術研修(移乗・移動介助 3回) 障害者虐待防止・権利擁護研修 外国人介護職員等受入れ施設のためのメンタルヘルスセミナー	実習指導者派遣

	家族支援 面談技術 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（管理者コース） 千葉県精神障害者地域移行支援ミニセミナー 甲種防火管理新規講習	
11月	介護技術研修（着脱介助 他 3回） 外国人介護職員とうまく向き合う方法 スーパービジョン アサーティブコミュニケーション 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース） 令和2年度福祉サービス苦情解決研修会（基礎編）・研修会A	介護等体験1名
12月	4S運動報告会 千葉県循環器病センター「てんかんの基礎知識と最新の治療」 (Zoom オンライン)	
1月	社会福祉会計簿記（Zoom オンライン） ソーシャルワーク・グループスーパービジョン研修会（Zoom オンライン）	初任者研修実習 1名
2月		
3月	自己覚知研修（Zoom オンライン） 障害福祉サービスの報酬改定勉強会（Zoom オンライン）	

#### 研修等

- 1) 感染対策がしっかり行われている対面研修、またはオンライン研修を選定して参加した。
- 2) 各関係機関との連携を深めるため、事業所間連絡会や研修会に参加した。
- 3) 職員それぞれのキャリアパスに応じた資質向上を図るため、全社協キャリアパス対応生涯セミナー等に参加した。
- 4) 生活支援員の介護技術の向上のため講師を招き、施設内介護技術研修を月3回、4ヶ月間実施した。
- 5) 事務員は、外国人介護職員への対応や福祉会計簿記研修に参加した。
- 6) 外部研修参加者は全体会議や部署内会議で伝達研修を実施した。

#### 実習生等受け入れ

\* 実習生の受け入れは、実習2週間前より検温と毎日の検温・体調把握を行った。

- 1) 介護等体験実習生を教職課程の一環として大学から1名受け入れた。
- 2) 相談援助実習生を淑徳大学から1名受け入れた。
- 3) 介護職員初任者研修課程の介護実習としてふれあいサービスセンターから1名受け入れた。
- 4) 京葉介護福祉専門学校2年生の3段階の学校内実習を行った際に、施設指導者派遣協力の依頼を受け、職員1名が指導、評価を行った。

## 【法人内委員会・諸会議実施報告】

### 1、運営委員会 … 法人内事業所の運営管理

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス予防策や事業継続計画について検討した。
- 2) ポート浜野の活用について検討した。

### 2、安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

[報告事項]

- 1) 職員健康相談の相談数は年間1件で、体調や働き方について産業医に相談した。
- 2) 部署内では大掃除を2回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を2回実施した。
- 3) 健康診断（腰痛検査含む）、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- 4) 4S運動研修を行い、グループ分けを行いグループ内にて4Sを実施・12月に報告会を行った。
- 5) 新型コロナウイルスの感染予防対策について産業医に相談し、予防対策の方法について職員への周知・館内消毒・来館者の手指消毒の強化を行った。
- 6) 労災事故2件（廊下での転倒による左上腕骨大結節骨折、排泄介助時に右臀部打撲傷・右膝捻挫）
- 7) 時間外労働超過者0件
- 8) 休職者2名（妊娠高血圧症候群・左上腕骨大結節骨折）

### 3、リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメントと委員会統括

[報告事項]

- 1) 事故報告、ヒヤリハット報告が挙げられた各部署で原因分析の追求、改善策を講じた効果の実証といった検証の流れに沿っての再発防止の取り組みや周知実施が、リスクマネジメント委員会主体の具体的取り組みには至らなかった。
- 2) リスクマネージャーと虐待防止委員会の協働で、生活支援課より不適切なケア報告が複数挙げられた報告について、各部署で供覧すると共に、対応策や改善方法について検討を行った。
- 3) リスクマネージャーと環境改善委員会の福祉サービス部門で連携を図り、再発防止に努めた。

#### 4、感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

##### [報告事項]

- 1)今年度はインフルエンザ・感染性胃腸炎等の感染症発生みられず。
- 2)感染予防自己チェックシート配布集計・館内巡視（ハピネス浜野・グループホームセレニテ・厨房）を年4回実施し、支援者会議等にて報告し改善を図った。
- 3)感染症対策として嘔吐物処理研修（新人・希望者）、食堂入り口・各階入り口・排泄かごのアルコール設置・環境消毒と予防衣の着脱研修・感染発生時支援対応マニュアル作成・発生時物品準備、手洗い・換気ポスター掲示等行った。

#### 5、環境改善委員会 … ヒヤリハット・事故報告の検討・再発防止、建物、設備等の改善、福祉サービスの向上

##### [報告事項]

- 1)設備部門では2、3階の夜間帯の誘導灯の点灯状態の確認、変更。2階給茶機の向きの変更、ビニールカーテンの使用。3階浴室（一般浴）の工事について意見を集約した。
- 2)福祉サービス部門では、リスクマネジャーを中心にヒヤリハット、事故報告書の検討を行い、職員間の周知を行うことで、対応の統一を図り再発防止に努めた。併せて設備が原因とあれば、改善できるものは早急に改善した。

#### 6、身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

##### [報告事項]

- 1)会議は毎回、前回、話し合われた内容をあらためて確認し、検討事項が途切れないよう実施した。
- 2)身体拘束実施チェック表の廃止に向け準備した。
- 3)職員に対して研修を実施した。

#### 7、虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

##### [報告事項]

- 1)虐待の早期発見や自身の振り返りをする為の「職員セルフチェックリスト」は、2回（6月、12月）実施した。同リストの集計結果から、虐待と思われる行為及び虐待へと繋がりそうな言動等はなかったが、生活支援課より不適切なケア報告が複数挙がった。同報告は、各部署で供覧すると共に、リスクマネジャーと協働し対応策や改善方法について検討した。
- 2)全職員対象で虐待防止研修を実施した。事前ワークやグループワークを取り入れ、虐待防止に関する意識等について職員間で意見交換する機会を設けた。
- 3)課題としていた研修効果の持続については、研修実施以降2ヶ月毎に異なる内容の啓発ポスターを館内各所に掲示し、効果の持続に努めた。

## 8、防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施

### [報告事項]

- 1) 消防機器の自主点検を実施した。
- 2) 水消火器を使用し、消火器の使い方について研修をグループに分けて実施した。
- 3) 防災備蓄庫内の整理を行い、備蓄品の在庫数把握ならびに追加購入品の確認を実施した。  
(新型コロナウイルス関連備品と事前災害関連備品)
- 4) 利用者参加で避難訓練（総合、夜間想定）を実施した。
- 5) 119番通報の仕方について研修を実施した。

## 9、行動評価検討委員会 … 行動目標の推進・目標の振り返り・次年度目標作成の実施

### [報告事項]

- 1) 今年度行動評価項目の見直しを行った。
- 2) 次年度行動評価項目の検討、項目案を作成した。
- 3) 行動目標の定着、推進に向けた取り組みを実践した。
- 4) 無理のない面談のあり方の検討、試行した。

## 10、広報委員会 … 法人・施設の情報提供・広報活動

### [報告事項]

- 1) 広報委員会に関する要綱を作成した。
- 2) ・職員の肖像権使用同意書を作成し、委員による説明後署名をもらった。
- 3) 各行事での写真撮影やカードを作成した。
- 4) ホームページ・フェイスブック・ツイッターの定期的な更新を行った。
- 5) 毎月ハピネス通信を発行し、利用者・保護者へ配布した。

## 11、給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

### [報告事項]

- 1) 給食委託業者と施設長・栄養士が参加して、2か月に1回、利用者の喫食状況の把握・食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。令和2年12月から生活相談員、児発管も参加し、食札の改定・児童おやつの検討等を行った。
- 2) 行事食の検討および防災食の状況について報告した。
- 3) その他、厨房機器や食器購入、感染症への対策等について確認した。

## 12、全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

### [報告事項]

- 1) 利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を報告し、検討した。
- 2) 新型コロナウイルス感染予防の情報共有を図った。
- 3) 規程の説明や理事会の報告、各委員会研修を実施した。12月の全体会議では、4S運動の発表会を行い、顧問社労士の講評並びに表彰式を行った。

令和2年度 委員会会議の活動及び研修等実施表 (\* 会議月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営 第3木曜日	年間計画 研修 (内容)	BOPIについて	行動評価について			スチホームパーティーについて	スチホームパーティー実施		ポート浜野計画について	次年度予算要望とBOPIについて	事業計画作成	事業計画作成
安全衛生 毎月水曜日	年間計画 研修 (内容)	危険物確認	大掃除	報告	産業医巡視	健康診断	介護技術研修 ストレスチェック	介護技術研修 予防接種	大掃除	報告 手洗い強化	危険物確認 産業医巡視	健康診断
リスクマネジメント 4ヶ月に1回 第3木曜日	年間計画 研修 (内容)	新型コロナウイルスの拡大を防止するためのチェックリスト開始		4S運動					4S運動の発表会			事故報告書等様式 改訂
感染症対策	年間計画 研修 (内容)	*13日 報告	○ *17日 感染症・嘔吐物処理 新人対象・嘔吐物処理 *17日 誘導灯、給茶機、3F浴室、事故報告検討	○ *18日 報告	*5日 報告	○ *16日 事故再発防止検討	○ *28日 改善計画実施	○ *18日 備品扱い検討	○ *20日 4S運動、入浴見直し	*18日 巡視 自己チェック	*3日 報告	*17日 物品管理、年度振り返り
環境改善	年間計画 研修 (内容)				改善計画実施		改善計画実施				嘔吐物処理	
身体拘束廃止	年間計画 研修 (内容)											
虐待防止	年間計画 研修 (内容)											
防犯・防災	年間計画 研修 (内容)											
行動評価検討	年間計画 研修 (内容)											
広報	年間計画 研修 (内容)											
全体会議 毎月第4木曜日 金曜日	年間計画 研修 (内容)	「どう思う?」ハピネス祭りについて	食洗器等設置運送絡 4S運動	食洗器等設置運送絡 4S運動	発電機設置について 備品扱いの注意	スチホームパーティー による伝達研修	スチホームパーティー による伝達研修	4S運動運送絡 新型コロナウイルス対策	法改正運送絡	福利厚生運送絡	感染症対策	振り返り・3年度計画 PCR検査
給食会議	年間計画 行事食	端午の節句	七夕	七夕	精進料理	スチホームパーティー お月見	ハロウィン	リクエスト	*17 クリスマス会 冬至・年越しそば	食礼作成 おせち 七草 お汁物	*18 節分 ハレンタイン	ひな祭り